

# 道徳通信

## 「旗」

愛西市立八開中学校  
令和3年12月20日  
青ブロック職員

「思いやりの心について、考えを深めよう」～道徳「旗」を通して考えました～

転校後まもなく交通事故に遭い、自宅療養中の少女は、新しい学校の友達にもなじみがなく、窓から見えるレモン色の旗を友達のように思っていました。ある日、一人のクラスメートがクラス旗を作るための布きれをもらいに少女の家を訪れ、少女は、寂しさを紛らわすために旗ばかり見ていることを打ち明けます。彼女は何かを考えていたようですが、何もないうまま数日が過ぎました。クラスメートに寂しい心を打ち明けたことを悔やんだ少女ですが、登校する前日に、いつものレモン色の旗のある場所にクラス旗を発見します。しかも、真ん中には少女が渡した布が縫い付けてありました。翌日、登校した少女を温かく迎えてくれたクラスメートの思いやりの心を知り、少女は「この町に引っ越してきてよかった」と心から思うのでした。

授業では、クラスメートと少女の気持ちについて考え、今後の学校生活で自分が実行したい「思いやりの行動」や大切にしたい「思いやりのあり方」について考えました。

●● ●●さん

友達は普段生活をしている中でいろいろな思いやりの行動をしていると思います。言葉より行動に移したいと思いました。その方が、より思いやりが伝わったからです。

●● ●●くん

自分は良くて他の人が嫌な思いだったら、といつも考えて行動する。

●● ●●さん

困っているクラスメートとかを励ましたり行動に移したりしたいです。

●● ●●さん

誰か一人でも辛い気持ちにならないように、言葉や行動には気を付ける。

●● ●●さん

その子のことを思っていいことをすること。だけど、いつも相手にとっていいことをしているだけだと、自分に嫌気をさしてしまうかもしれないから、たまに自分に得をすることをするのだと思いました。

●● ●●さん

最初、この「旗」というお話は、何を教たいのか、何を書いているのか、全くわからなかった、けど、思いやりの大切さを教えてくれていることを知った。

●● ●●さん

相手の事を考えて、行動に表し相手の喜ぶことをすること。

●● ●●さん

思いやりっていうのはみんながいい気持ちになれるものだった。1人がいい気持ちでもそれ以外の人が嫌な気持ちだったらそれは思いやりとはいわないと思った。

●● ●●さん

誰かが見ているからではなく、その人のために自分ができることをする。優しさが大切だけどそれをどう受け止めるかで変わってくると思った。困っているときに手伝ったりされて嬉しい気持ちになったりすることを率先してできるようにすることを大切にしたい。

